

タチヒラゴケ

Homaliadelphus targionianus (Mitt.) Dixon et P. de la Vard.

兵庫県ランク… A

環境省ランク… —

■ 県内分布

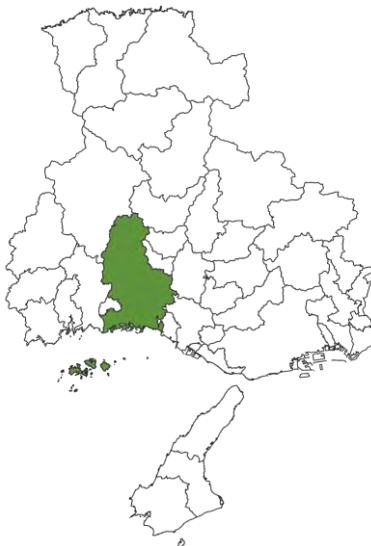
姫路市

■ 国内分布

本州、四国、九州

■ 選定理由

人為性		特殊性		学術性	
生育環境破壊		特殊生育環境		特殊な分布	
観賞用等採取		特異な生態		分布の限界	
				希少	○



■ 特記事項

■ 保護上の留意点

■ 種の概要

外形はナガエタチヒラゴケに似る。二次茎は長さ2cm前後で、葉を含めて幅2-3mmになり、少数の枝を出す。葉は扁平について強い光沢があり、広卵形から円、ほぼ全縁。葉の基部がたたまれて小さな片となり、耳状に内側に折れ曲がるのが良い特徴。上部の葉縁近くの細胞は小さくて方形から矩形。葉身細胞は楕円形で厚壁、平滑。雌雄異株。蒴柄は長さ5mm程度。蒴は円筒形で相称。外蒴齒は披針形、内蒴齒は断片になり、ときに外蒴齒に付着する。胞子は直径15-20μm。日本では石灰岩上に生える。